

小金沢連稜 滝子山

- 【日 程】 2016年12月23日(金)
【参加者】 CL 柘植、石橋、鈴木卓(元会員)
【行 程】 笹子駅 9:15→寂ショウ尾根入口 9:40→登り尾根取付き 10:15→桧平 11:45→
12:20 滝子山 12:40→道証地藏 14:30→15:10 笹一酒造 15:40→15:50 笹子駅



今回のルート図



尾根の取付き地点で石橋さんと久しぶりの卓さん

かぐらでシーズン初滑りの計画であったが、現地の天候が荒れ模様のため、近場の滝子山に変更。今回は元会員の鈴木卓さんも参加でおたがい近況報告しあう。滝子山は個人的には尾根・沢ともかなり登りつくしているが、最近の昭文社地図を見ると一般ルートの桧平から南に延びる枝尾根に赤破線がついており、ここは未踏なのでこの尾根に行ってみることにした。



落ち葉ラッセルを交えて急斜面を登る



上部はこんな感じで素晴らしい

どこからこの尾根の取付きまで行くのが標準ルートなのか分からないが、我々は寂ショウ尾根の下部を登り、途中の林道を使って取付き地点まで行った。正規の取付きはもっと先だったかもしれないが、小さな赤布のあったところから尾根の側面に取り付く。かなりの急斜面で落ち葉も深くて苦勞するが、自然林の山肌はとてもいい感じ。右手に見える目的の尾根の背にたどりつくると踏み跡はかなり明瞭でところどころ木の簡単な階段も作られており、ピッチがあがる。お隣の寂ショウ尾根と高度を競うように道

は続くが岩場は少なく、やや面白味は欠けるかも。上部で早くも下山してくる3人組と出会い、ビックリした。一般道との接続点となる桧平までは1時間40分ほどで到着する。このころから空には広く雲がかかりはじめ、富士山も半分雲の中になってしまった。桧平からは一般道なのでのんびり（これまでものんびりだったが）進む。滝子の山頂はさすがに人気の山で結構な人数の登山者で賑わっていた。



桧平にて（正面は三ツ峠）



滝子山の山頂

帰りは浜立尾根経由で戻ることにする。ここは何度も通っているが下降路としては結構変化に富んでいて好きなおところだ。この時期は稜線の雑木もすっかり落葉していて眺めは絶景、とくに正面に広がる甲府盆地の夜景はさぞきれいだろうと思われる。車道に出たあたりからまたきれいに晴れてきて、終わりよければすべて良し。笹一で新酒ができたのノボリを行きに目にしたので、帰りは笹一酒造に寄り道して新酒の利き酒を楽しみ、各自土産（酒粕や日本酒）を買って今回の山行を終了した。

柘植（記録）